

新しい環境に切り替わったときに 確認してほしいこと

新年度がはじまりました。この春から新しい学校、職場、一人暮らしでの生活など、新生活が始まったというかたもいらっしゃると思います。

新しい環境に切り替わった今は、身の周りの「防災」について確認するチャンスです。まだ新たな環境に慣れない中でも、災害に備え、身を守るための準備をしておく必要があります。

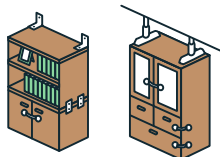
①防災備蓄や非常用持ち出し袋を準備する ～自分に合った備蓄の仕方～

備蓄には、ローリングストックによるものや、長期保存可能な食品などをまとめて購入して保管しておく方法などさまざまあります。自分に合ったやり方で、最低3日分でできれば1週間以上を用意しておくことで安心です。



②家の中や周囲の危険を確認する ～家具固定や避難経路を確認する～

地震で、高い場所から物が落ちてきたり家具が倒れるなど身に危険が及ぶものはないかを確認し、家具固定や整理整頓するなどの対策をしましょう。また、ドアや避難経路をふさぐものはないかなども確認しておいてください。



③ハザードマップを確認する ～三重県公式アプリ「みえ防災ナビ」を活用しよう～

学校や職場などが変わると、避難先や避難経路が変わる場合があります。学校や職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのかを確認し、緊急時の避難場所などを確認しておきましょう。



県では、各種防災情報を提供する県公式防災アプリ「みえ防災ナビ」を運用しており、位置情報をもとに、どこにいても周辺の避難場所やハザードマップを確認することができます。自身や家族の命を守るため、ぜひ活用してください。

「鳥羽なかまち」は、昭和の時代に鳥羽の台所と呼ばれ、にぎわっていました。今も、どこか懐かしさ、気取らない普段の生活そのままの雰囲気のお店が多く残っています。

江戸時代末から大正時代にかけて、薬屋を営んでいた「鳥羽大庄屋かどや」が国の登録文化財に指定されたことをきっかけに、「鳥羽なかまち」に昔のような賑わいを取り戻そう！と「鳥羽なかまち会」を発足しました。スローガンは、『鳥羽三丁目・四丁目にかけて、鳥羽なかまちなかの活性化を願い、会員はもとより観光客や市民も、わくわくするような日常空間形成を目的とする！』ことです。各お店を中心に、なかまちなかの魅力を再発見し、地元のお客さんにももちろん、たくさんのかたにお

108SMILE 市民活動団体紹介 つながり. 29

「鳥羽なかまち会」

108SMILE ホームページ
URL <https://108smile.jimdofree.com/>



市民課人権・市民交流係
(TEL) 25-1126

越えたい、頑張りたい、そんな思いで頑張っています。

結成当初、なかまちなかをもっと知ってもらうことを目標に、今ではすっかり認知されるようになった「なかまちなかマーケット」の開催や、なかまちなかマップを作ることなどから始まった活動でしたが、近年では、大学生と連携して空き家のリノベーションを行ったり、移住者への住宅提供をしたり、なかまちなかで起業を考える人への支援を行うなど、若者や学生、移住者との交流で、新しい風をどんどん取り入れ、広い視野を持って地域活動の輪を拡げています。

古き良き昭和の面影を大切にしながら、進化し続ける「鳥羽なかまち」。更なる新しい風を吹かせるため、赤崎神社近くの旧材木倉庫をカフェ＆レンタルスペース（ZCC）として只今改修中。なかまちなかを訪れるかたにたにワクワクしていただける新たな拠点として準備しています。各お店の軒先などに吊るされた「オレンジかまど」の吊り旗もオリジナルにデザインされたものです。訪れるたびに、新たな発見があります。ぜひ、足を運んでみてください。